

The Japanese Society of
Therapeutic Drug Monitoring

第41回日本TDM学会・学術大会

プログラム集

メインテーマ

TDM×DXで織りなす医療情報社会

会 長 池田 賢二（大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野 教授）
会 期 2025年7月26日（土）・27日（日）
会 場 大阪大学コンベンションセンター
主 催 一般社団法人 日本TDM学会

一般社団法人 日本TDM学会

第41回 日本TDM学会・学術大会

メインテーマ
TDM x DX で織り成す医療情報社会

大会長：池田 賢二
(大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野教授)

会期：2025年7月26日(土)・27日(日)

現地・OnDemand開催

会場：大阪大学コンベンションセンター

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

目次

ご挨拶	P.1
第41回日本TDM学会・学術大会運営体制	P.2
一般社団法人日本TDM学会歴代理事長・学術大会記録	P.3
交通案内	P.5
会場案内	P.7
参加者へのお知らせ	P.8
7月26日タイムテーブル	P.12
7月27日タイムテーブル	P.14

プログラム（7月26日）

大会長講演	P.16
理事長講演	P.16
特別講演	P.16
教育講演	P.17
シンポジウム	P.17
国際交流シンポジウム	P.18
教育セッション	P.19
一般講演（口頭）	P.20
スポンサードセミナー	P.24
ハンズオンセミナー	P.25

プログラム（7月27日）

特別講演	P.26
シンポジウム	P.26
教育セッション	P.30
一般講演（口頭）	P.32
ハンズオンセミナー	P.35

プログラム（7月26日～27日）

一般ポスター演題	P.36
謝辞	P.40

第 41 回日本 TDM 学会・学術大会の開催にあたって

ご挨拶

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より（一社）日本 TDM 学会の活動に対し、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、第 41 回日本 TDM 学会・学術大会を 2025 年（令和 7 年）7 月 26 日（土）、27 日（日）の 2 日間、大阪大学コンベンションセンターにて、開催させていただくことになりました。

本学会は 1981 年の医療法改正による特定薬剤治療管理料の新設などを背景として 1987 年に設立されました。1984 年に設立された TDM 研究会を前身としており、既に 40 年近くが経過いたしました。本大会は、TDM に関する学理及びその応用についての研究発表、知識・技術の交換、会員相互及び内外の関連学協会等との連携協力を行うことにより、TDM の進歩及び普及を図り、もって科学技術の発展と医療・社会に貢献することを目的としております。この目的の達成のため、学術大会を毎年開催するとともに、機関誌「TDM 研究」を定期的に発行し、各種セミナーの開催等、さまざまな活動を続け、2016 年に一般社団法人化しました。最近では、関連学協会等との共同作業により、抗菌薬、免疫抑制薬、循環器薬、抗てんかん薬の TDM ガイドラインを刊行いたしました。また、薬剤耐性（AMR）対策を議論する専門家会合にも学会として参画する機会をいただき、AMR 対策のための TDM の必要性を述べさせていただきます。

第 41 回の学術大会では「TDM × DX で織り成す医療情報社会」をテーマに掲げました。医療にかかるシステムが大きく変わろうとしています。薬物治療の個別化のための新しい技術も次々と開発されており、これらを踏まえて、「DX」「医療情報社会」に関する論議を深めたいと考えています。すなわち、参加者のほとんどが医療機関に従事する薬剤師であることを考慮し、薬物療法が複雑化する中で、デジタル技術を用いた医薬品の適正な使用に関して、広く論議し、情報共有できる場となることを願います。

末筆になりましたが、本大会では全てのご講演に同じ未来医療に向けた大きなメッセージが含まれております。現地に加えて時間の重なったコンテンツを共有頂けますよう、後日の OnDemand 開催も企画いたしました。是非ともご活用いただき、皆様にとって有益な大会となることを祈念致します。

2025 年 5 月吉日

第 41 回日本 TDM 学会・学術大会

大会長 池田 賢二

（大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野教授）

第 41 回日本 TDM 学会・学術大会 運営体制

大会長 池田 賢二 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野)

実行委員会 (大会長・委員長除く五十音順)

池田 賢二 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野 (大会長))
奥田 真弘 (大阪大学医学部附属病院薬剤部 (実行委員長))
浦嶋 和也 (大阪みなと中央病院薬剤部)
浦嶋 庸子 (大阪大谷大学薬学部臨床薬剤学講座)
尾田 一貴 (熊本大学病院薬剤部・感染制御部)
加藤 隆児 (大阪医科薬科大学薬学部薬物治療学 I 研究室)
島本 裕子 (国立循環器病センター薬剤部)
田中 早織 (大阪医科薬科大学薬学部薬物治療学 I 研究室)
前田 真一郎 (大阪大学医学部附属病院薬剤部)
山田 智之 (大阪医科薬科大学附属病院薬剤部)
山本 和宏 (岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床基礎統合薬学分野)
吉田 紗理 (大阪急性期・総合医療センター薬局中央業務室)

歴代理事長・学術大会記録

歴代理事長

在任期間 (在任年数)	氏名	所属
1984/5/13 ~ 1987/7/31 (3年)	田中 一彦	国立循環器病センター ICU
1987/8/1 ~ 1991/5/12 (4年)	曲直部寿夫	国立循環器病センター
1991/5/13 ~ 1995/6/10 (4年)	堀 了平	京都大学医学部附属病院薬剤部
1995/6/11 ~ 1998/5/31 (3年)	海老原昭夫	自治医科大学臨床薬理学
1998/6/1 ~ 2003/6/28 (5年)	中野 真汎	熊本大学医学部附属病院薬剤部
2003/6/29 ~ 2005/5/22 (2年)	三浦 寿男	北里大学医学部小児科
2005/5/23 ~ 2011/6/19 (6年)	谷川原祐介	慶應義塾大学医学部臨床薬剤学
2011/6/20 ~ 2016/10/23 (5年)	上野 和行	新潟薬科大学薬物動態学
2016/10/24 ~ 2022/5/22 (6年)	柴田 敏之	京都薬科大学薬物動態学
2022/5/23 ~ 現在	菅原 満	北海道大学大学院薬学研究院薬物動態解析学

学術大会記録

TDM研究会

回	開催日	会長	所属	開催場所
1 ¹⁾	1984/5/13	田中 一彦	国立循環器病センター ICU	大阪
2 ²⁾	1985/5/26	三牧 孝至	大阪大学医学部小児科	大阪
3 ³⁾	1986/5/11	扇谷 茂樹	国立大阪南病院検査技師学校	大阪
4 ⁴⁾	1987/5/17	三浦 寿男	北里大学医学部小児科	東京

(一社) 日本TDM学会 (1987/8/1設立、2016/4/1一般社団法人化)

回	開催日	会長	所属	開催場所
5	1988/10/20 ~ 22	田中 一彦	第1回国際TDM会議 (田中一彦会長) と合同開催	大阪
6 ⁵⁾	1989/5/12 ~ 13	宮川富三雄 青山 敏信	順天堂大学医学部脳神経内科 九州大学医学部附属病院薬剤部	東京
7 ⁶⁾	1990/5/11 ~ 12	金久保好男	千葉大学医学部附属病院薬剤部	千葉
8 ⁷⁾	1991/5/11 ~ 12	北澤 式文	慶應義塾大学病院薬剤部	東京
9 ⁸⁾	1992/10/23 ~ 24	海老原昭夫	自治医科大学臨床薬理学	大宮

1)~4) 第1回~第4回TDM研究会総会として開催

5) 第6回日本TDM学会学術集会 (宮川富三雄会長) ・第4回治療薬物モニタリング全国交流会 (世話人代表: 青山敏信) の合同開催

6) 第1回治療薬物モニタリング学術大会 (第5回治療薬物モニタリング全国交流会と第7回日本TDM学会学術集会の合同開催)

7) 第2回治療薬物モニタリング学術大会 (第6回治療薬物モニタリング全国交流会と第8回日本TDM学会学術集会の合同開催)

8) 第9回日本TDM学会記念大会として開催

学術大会記録

日本TDM学会・学術大会

10	1993/6/4 ~ 5	緒方 宏泰	明治薬科大学薬剤学	東京
11	1994/6/3 ~ 4	宮崎 勝巳	北海道大学医学部附属病院薬剤部	札幌
12	1995/6/9 ~ 10	樋口 駿	九州大学大学院薬学研究科医療薬学専攻薬物動態学	福岡
13	1996/6/7 ~ 8	細田 瑳一	東京女子医科大学附属病院日本心臓血圧研究所循環器内科	東京
14	1997/6/27 ~ 28	大橋 京一	浜松医科大学臨床薬理学	浜松
15	1998/5/30 ~ 31	奥村 勝彦	神戸大学医学部附属病院薬剤部	神戸
16	1999/6/18 ~ 19	三浦 寿男	北里大学医学部小児科	横浜
17	2000/5/20 ~ 21	水柿 道直	東北大学医学部附属病院薬剤部	仙台
18	2001/6/1 ~ 2	齋藤 宣彦	聖マリアンナ医科大学代謝内分泌内科	東京
19	2002/5/11 ~ 12	中野 真汎	熊本大学医学部附属病院薬剤部	熊本
20	2003/6/27 ~ 28	島田 慈彦	北里大学薬学部・薬剤部	横浜
21	2004/6/5 ~ 6	東 純一	大阪大学大学院薬学研究科臨床薬効解析学	吹田
22	2005/5/21 ~ 22	芳原 準男	琉球大学医学部附属病院薬剤部	宜野湾
23	2006/7/16 ~ 17	谷川原 祐介	慶應義塾大学病院薬剤部	東京
24	2007/7/28 ~ 29	宮本 謙一	金沢大学医学部附属病院薬剤部	金沢
25	2008/6/21 ~ 22	戸塚 恭一	東京女子医科大学感染対策部感染症科	東京
26	2009/6/13 ~ 14	上野 和行	新潟薬科大学薬学部薬物動態学研究室	新潟
27	2010/6/26 ~ 27	野村 憲和	北海道薬科大学薬学部病態科学分野	札幌
28	2011/6/18 ~ 19	木平 健治	広島大学病院薬剤部	広島
29	2012/6/16 ~ 17	竹末 芳生	兵庫医科大学感染制御学	神戸
30	2013/5/25 ~ 26	平田 純生	熊本大学薬学部臨床薬理学分野	熊本
31	2014/5/31 ~ 6/1	越前 宏俊	明治薬科大学薬物治療学	東京
32	2015/5/23 ~ 24	大森 栄	信州大学医学部附属病院薬剤部	松本
33	2016/5/28 ~ 29	藤村 昭夫	自治医科大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門	宇都宮
34	2017/9/23 ~ 24	奥田 真弘	三重大学医学部附属病院薬剤部	京都
35	2018/5/26 ~ 27	家入 一郎	九州大学大学院薬学研究科薬物動態学分野	福岡
36	2019/5/25 ~ 26	志賀 剛	東京女子医科大学循環器内科	東京
37	2021/5/29 ~ 30	三浦 崇則	安城更生病院教育研修・臨床研究支援センター	安城/WEB
38	2022/5/21 ~ 22	本間 真人	筑波大学医学医療系臨床薬剤学	つくば/WEB
39	2023/6/24 ~ 25	柴田 敏之	京都薬科大学薬物動態学	京都
40	2024/7/14 ~ 15	菅原 満	北海道大学大学院薬学研究科薬物動態解析学研究室	北海道
41	2025/7/26 ~ 27	池田 賢二	大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野	大阪

交通案内

【大阪大学コンベンションセンター】

(大阪モノレール「阪大病院前」より南西徒歩 10 分)

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1



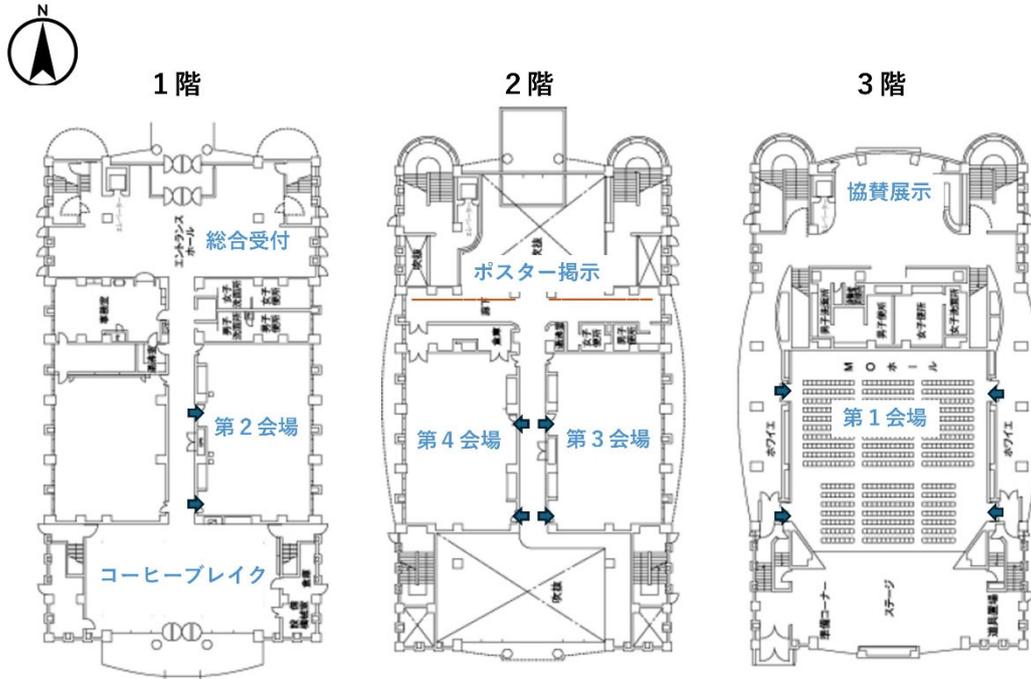
大阪大学 吹田キャンパス全体図



会場案内

【大阪大学コンベンションセンター】

大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター見取り図



【杏の杜：第5～7会場 (ハンズオン会場)】

大阪大学吹田キャンパス 杏の杜 見取り図



参加者へのお知らせ

1. 事前参加登録された方の受付

事前参加登録期間(2025年3月1日(土)~2025年7月11日(金))内に決済完了された方は、現地参加時に登録完了画面(および参加者マイページ)で表示される **QRコード** をご用意頂きますよう宜しくお願い申し上げます。総合受付で参加証および選択されたオプション券が発行されます。

(懇親会、症例検討会参加はオプション券発行ではなくマーク表示となります。)

※ 事前参加登録締切日以降、および事前参加登録締め切り日までに決済が完了しない場合は、一度参加登録は取り消されます。オンラインでの事後参加登録となり、事後登録参加費となります。

※ 参加登録決済完了いただいた方は、領収書および現地参加証に加えて開催日後に参加証明書をダウンロードいただけます。

2. 当日参加受付

当日参加も受け付けますが、オンラインによる登録・クレジットカード決済のみとなりますので、オンライン登録・メール受信できるスマートフォンなど、および登録用のクレジットカード情報をお持ちください。

<https://41th-jstdm.gakkai.online/>



上記ページ内の「新規登録」ボタンより登録画面へお進みください。PCの他、スマートフォン、タブレットからもご登録いただけます。

オンラインクレジットカード決済のみとなります。

参加登録頂いた後、下記時間内に総合受付(コンベンションセンター1階)にて参加証を発行してください。

7月26日(土) 8:30~16:00

7月27日(日) 8:30~16:00

※参加登録は参加費の支払いをもちまして完了となります。

※一度お支払いいただいた参加登録費は返金できません。二重払込・誤払込みは十分にご注意ください。

3. 参加費

参加費 (円) (OD: OnDemand)

		事後登録参加費
現地参加のみ	事前登録 (OD不可) 2025/7/11までに決済済のこと	事後登録 (OD不可) 2025/7/19 (土)~2025/7/27 (日)
会員 (不課税)	10000	12000
非会員 (課税/税込)	12000	14000
学生	1000	2000
現地+OD参加登録	事前登録 (OD可、現地参加含む) 2025/7/11までに決済済のこと	事後登録 (OD可、現地参加含む) 2025/7/19 (土)~2025/8/31 (日)
会員 (不課税)	12000	15000
非会員 (課税/税込)	14000	17000
学生	2000	3000

OD は大会コンテンツから配信されるため大会参加が前提であり、OD のみの参加費設定は御座いませんのでご了承ください。

4. プログラム集、プログラム抄録集について

プログラム集・プログラム抄録集の予めの郵送はございません。参加登録いただいた方は、マイページ内にてプログラム集・プログラム抄録集の pdf をダウンロードいただけます。また、現地にはプログラム集冊子媒体を限定部数用意いたしますので、ご自由にお取りいただけます。プログラム抄録集の掲載は6月以降となります。

5. 懇親会

2025年7月26日(土) 17:30(予定)より、開催地コンベンションセンター近辺にて、開催いたします。

参加証発行前に懇親会事前参加登録(4,000円)が必要です。

6. ハンズオンセミナー、オプション登録について

本大会の会期中に開催するオプションコンテンツについての申込を定員分、先着順で参加登録システムにて受付しております。会員・非会員を問わず本大会参加者はお申込いただけます。但し、定員に達した場合は申し込みを締め切ります。

現地オプション参加登録申し込み

- A 7月26日(土) 09:30~11:30 抗菌薬 TDM ハンズオン (要自己 PC)
- B 7月26日(土) 14:00~15:30 NONMEM ハンズオン (要自己 PC)
- F 7月26日(土) 13:30~14:20 SHIMADZU 分離分析機器ハンズオン
- G 7月26日(土) 14:40~15:30 SHIMADZU 分離分析機器ハンズオン

- C 7月27日(日) 09:30~11:30 抗菌薬 TDM ハンズオン (要自己 PC)
- D 7月27日(日) 11:40~12:10 付随トークイベント (定員なし)
- E 7月27日(日) 14:00~15:30 NONMEM ハンズオン (要自己 PC)
- H 7月27日(日) 15:30~17:00 症例カンファレンス

7. お弁当デリバリーのお申込みについて

本大会ではフードロスなどの観点から、昼食は申し込み制でお弁当を自費購入いただくデリバリー手配を予定しており、プログラム中「昼食可」の表記のある、お昼時間帯のいくつかのセミナー中にも昼食をお取りいただけます。参加登録時、または参加登録後の修正画面で選択いただけますと幸いです。

なお、準備の都合上お弁当デリバリーのお申込み期限は、**2025年7月1日(火)**となっておりますので、6月中にお申し込頂けますようお願い致します。

8. 各種研修制度への参画について

次の本大会ホームページでご確認ください。

<http://41th-jstdm.clinpham.com/osaka/point>



9. 企業展示について

両日とも、コンベンションセンター3階 第1会場前ホールにて開催予定です。

10. クローク

両日とも、コンベンションセンター1階 総合受付サイドでお預かり致します。

【お預かり時間】

7月26日(土) 8:30~17:00

7月27日(日) 8:30~17:00

11. 学生優秀演題賞、若手優秀演題賞、優秀演題賞結果発表

学生優秀演題賞(口頭・ポスター)、若手優秀演題賞については、7月26日(土) 16:30以降総合受付付近に掲示するとともに懇親会にて発表されます。

優秀演題賞については、7月27日(日) 16:30以降総合受付付近に掲示いたします。

いずれも受賞者には表彰状が交付されますので、総合受付までお申し出ください。なお、後日学会誌 TDM 研究に授賞記寄稿についてのご依頼がございます。

12. 演者・参加者間の交流会(コーヒープレイク)

本大会では、演者と参加者間で交流いただけますよう、下記にてコーヒープレイクを設定しております。演者・座長の先生方は是非ともできる限りのお越しをお待ち申し上げます。随時、活発に交流頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

【開催時間】7月27日(日) 14:30~随時

【開催場所】コンベンションセンター1階 南側エリア

1 3. 総会（従来の評議員会）

下記にて総会（法人法上の社員総会）を開催いたします。構成員は日本 TDM 学会評議員ですが、会員の方も傍聴いただけます。

【開催時間】 7月27日（日）14:10～14:50

【開催場所】 コンベンションセンター3階 第1会場

1 4. 若手研究者の会

日本 TDM 学会には、40歳以下の方を対象とした若手研究者の会という組織があり、所属施設を超えた若手同士の交流を推進しています。本大会では若手の参加者を対象にした交流会を企画していますので、日本 TDM 学会若手研究者の会の所属の方はもちろん、若手研究者の会に興味がある40歳以下の方は、気軽にご参加ください。

【開催時間】 7月27日（日）13:30～14:20

【開催場所】 コンベンションセンター2階 第3会場

1 5. 呼び出し・伝言

放送、および会場スライドなどによる呼び出しは行いませんのでご了承ください。

1 6. Wi-Fi

大阪大学の Wi-Fi をご利用いただけます。ゲストパスは総合受付で掲示いたします。および eduroam をご利用いただけますが、利用法についての質問はお受けできませんのでご了承ください。

1 7. その他

・許可のない撮影・録画・録音は禁止致します。

・季節柄本大会には、クールビズでお越しくください。スタッフもクールビズを原則と致しますのでご了承ください。

・座長・演者の先生方への案内は、別途、およびプログラム抄録集にて行います。

第41回日本TDM学会・学術大会（2025年7月26日）

○を付したコンテンツはOnDemand予定

(時)	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	(時)
9	9:00 開会式				9
	9:10 ○C-1 大会長講演 池田 賢二				
	9:25 ○C-2 理事長講演 菅原 満				
	9:45 授賞式				
10		10:00 準備			10
	10:10 ○C-3 特別講演 1 医療へのデジタルツインの活用展望 座長 : 島本 裕子 演者 : 朔 啓太	10:10 ○C-4 シンポジウム1 遊離型および組織中濃度に基づいたTDMを考える オーガナイザー: 尾田 一貴 座長 : 榎屋 友幸 演者 : 辻 泰弘, 田中 遼大, 平井 利典, 埜越 崇範, 吉川 直樹			
	11:40 休憩	11:40 休憩			
12	12:00 C-5 昼食可 スポンサードセミナー 1 (株) 日立ハイテク ICUでの抗菌化学療法におけるTDM: HPLCの活用と課題 座長 : 鈴木 広道 演者 : 橋本 英樹	12:00 C-6 昼食可 スポンサードセミナー 2 (株式会社島津製作所) LC-MS/MSとは? 基礎から臨床分野への応用 演者 : 箕畑 俊和	2:00 昼食可		12
13	13:00 休憩	13:00 休憩	3:00 休憩		13
	13:10 ○C-7 教育講演 1 数理モデルとAIを活用したファーマコメトリクス進化とデジタルツインの役割 座長 : 加藤 隆児 演者 : 辻 泰弘	13:10 ○C-8 教育セッション 1 私にもできるTDMに関連する医療情報を活用した研究 オーガナイザー: 村木 優一 座長 : 村木 優一, 浜田 幸宏 演者 : 冢瀬 諒, 丸山 拓実, 岡田 章, 花井 雄貴	3:10 O-A 学生優秀演題賞候補演題 1 座長 : 浦嶋 和也, 平 大樹 0-1: 近藤 昭志 0-2: 小川 萌花 0-3: 廣田 健一郎 0-4: 久田 直毅 0-11: 加田 勝也	13:10 O-B 学生優秀演題賞候補演題 2 座長 : 安藤 基純, 山本 和宏 0-5: 飯田 萌子 0-6: 上松 祐貴 0-7: 豊福 真子 0-8: 佐々木 友希	
	14:10 休憩		14:30 シンポジウム 2 演者打ち合わせ	14:20 C-11 スポンサードセミナー 3 (第一三共株式会社) 神経障害性疼痛の薬物療法 ~多職種における薬剤師の役割~ 座長 : 加藤 隆児 演者 : 竹屋 泰	
15	14:50 ○C-9 JSTDM-IATDMCT YS Joint Symposium 2025 -Antimicrobial Optimization with TDM: for patients' future- Organizer and Chair: Ryota Tanaka Chair: Yoshiki Yamamoto Speaker: Indy Sandaradura, Vu Dinh Hoa, Nathalie Grace Sy Chua, Tomoyuki Ishigo	15:00 ○C-10 シンポジウム 2 TDM x Dxが拓く新しい免疫抑制療法 オーガナイザー: 増田 智先 座長 : 増田 智先, 竹内 裕紀 演者 : 吉川 直樹, 平井 利典, 三浦 昌朋	5:10 O-C 若手優秀演題賞候補演題 1 座長 : 山田 智之, 榎屋 友幸 0-9: 熊田 拓史 0-10: 中野 祐樹 0-12: 関 博行	15:40 O-D 若手優秀演題賞候補演題 2 座長 : 辻本 雅之, 山田 孝明 0-13: 平井 真智子 0-14: 横山 智士 0-15: 奥羽 華乃子	15
16	16:20 終了	16:30 終了	6:10 終了	16:25 終了	16
17					17

第41回日本TDM学会・学術大会（2025年7月26日）

第5～7会場は「杏の杜」

(時)	ポスター掲示場	第5会場 1階	第6会場 2階	第7会場 1階	(時)
9					9
10	10:00		9:30 [A] C-23① 抗菌薬TDMハンズオン 症例で学ぶ！抗菌薬TDM 進行：潮平 英郎 座長：眞経 賢一 チューター： 竹内 拓介 小林 和博 松本 裕喜	10:00	10
11					11
12					12
13	ポスター発表演題 コンベンションセンター 2階 掲示時間：26日 10:00～27日 16:00			機器展示& 簡易ハンズオン (株)日立ハイテク 随時参加可	13
14	学生優秀演題賞候補演題 P1～P8 示説時間：26日 奇数 12:30～13:30 偶数 13:30～14:30 一般ポスター発表演題 P9～P16 示説時間：27日 奇数 12:30～13:30 偶数 13:30～14:30	13:30 [F] SHIMADZU 分離分析機器ハンズオン 質量分析装置に さわってみましょう！ 株式会社島津製作所	14:00 [B] C-23② NONMEMハンズオン Phoenix NLMEによる 母集団薬物動態モデリング体験 進行：尾田 一貴 演者：佐古 兼一		14
15	P-1 鈴木そら、P-3 荒井佳誉 P-5 石田光稀、P-7 東方里穂 P-2 澤田萌々、P-4 小迫千花 P-6 唐 翠佳、P-8 鈴木慈奈 P-9 権尾卓也、P-11 安藤基純 P-13 橋本直明、P-15 島田英佳 P-10 佐野珠世、P-12 橋本真梨 P-14 三浦基雄、P-16 藤田浩平	14:40 [G] SHIMADZU 分離分析機器ハンズオン 質量分析装置に さわってみましょう！ 株式会社島津製作所			15
16					16
17					17
	ポスター掲示場	第5会場 1階	第6会場 2階	第7会場 1階	

第41回日本TDM学会・学術大会（2025年7月27日）

○を付したコンテンツはOnDemand予定

(時)	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	(時)
9	9:00 OC-12 特別講演2 医療情報共有とデータ活用に向けた未来のカタチ 座長: 池田 賢二 演者: 武田 理宏	9:00 OC-13 シンポジウム3 医療Dx時代のTDMを考える オーガナイザー兼座長: 山本 和宏, 平 大樹 演者: 水野 知行, 小林 昌宏, 吉田 優子, 尾田 一貴			9
10	10:30 休憩	10:30 休憩			10
11	10:40 OC-14 共催シンポジウム (日本医療情報学会) 多面的な医療情報の共有に向けて オーガナイザー兼座長: 池田 賢二, 武田 理宏 演者: 山下 貴範, 奥羽 華乃子, 中尾 豊, 鷺見 和之	10:40 OC-15 シンポジウム4 TDM検査精度の実態と薬物治療に対する影響 オーガナイザー: 谷川原 祐介 座長: 谷川原 祐介, 城野 博史 演者: 谷川原 祐介, 増田 智先, 山本 和宏, 佐藤 紀宏, 城野 博史	10:40 C-16 シンポジウム5 今見直そう、「循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン」 オーガナイザー: 島本 裕子 座長: 島本 裕子, 志賀 剛 演者: 高塚 博一, 小田 真司, 新名主 カオリ, 志賀 剛	10:35 O-E 優秀演題賞候補演題 座長: 田中 遼太, 辻 泰弘 O-16: 白岩 健 O-17: 安井 友佳子 O-18: 土肥 麻貴子 O-19: 堀田 麻弘 O-20: 野田 哲史 O-21: 中山 裕一 O-22: 鈴木 毅	11
12	12:10 休憩	12:10 休憩	12:10 昼食可		12
13	12:30 OC-17 共催ランチタイムシンポジウム (関西腎と薬剤研究会) 腎機能低下患者にこそ活かそう！薬物動態とTDMの知識 オーガナイザー: 浦嶋 和也, 林 八恵子 座長: 浦嶋 和也, 吉田 紗理 演者: 辻本 雅之, 竹腰 雄真, 植田 徹, 吉田 祐弥	12:30 OC-18 ランチタイム教育セッション2 TDMを始める予備知識 座長: 浦嶋 康子 演者: 前田 真一郎			13
14	14:00 休憩	13:20 休憩	13:30 若手研究者の会	13:45 O-F 一般演題 座長: 村木 優一, 浜田 幸宏 O-23: 青山 隆彦 O-24: 吉見 靖男 O-25: 小林 宇太郎	14
15	14:10 総会	13:30 OC-19 教育セッション3 TDMを始めたい方必見！若手研究者によるTDMの基本と実践、時々失敗 オーガナイザー: 浦嶋 康子 座長: 浦嶋 康子, 福山 雄太 演者: 横山 雄太, 齊藤 順平, 糸原 光太郎, 八木 達也	14:20 共催シンポジウム (大阪抗菌薬倶楽部) 演者打ち合わせ	14:30 コーヒーブレイク (1階南側エリア)	15
16	14:50 コーヒーブレイク (1階南側エリア)	14:50 コーヒーブレイク (1階南側エリア)	14:50 コーヒーブレイク (1階南側エリア)	15:20 [H] C-22 症例カンファレンス 慣れない薬のTDMで迷ったら～初学者も参加して症例検討で経験を共有しよう～ オーガナイザー: 吉田 紗里 座長: 吉田 紗里, 浦田 元樹 演者: 松本 裕喜, 松田 翔平	16
17	15:30 OC-20 シンポジウム6 小児こそDXを！臨床でのTDMとファーマコメトリクス活用 オーガナイザー: 島本 裕子 座長: 島本 裕子, 木村 利美 演者: 大仁田 哲彦, 山田 孝明, 田中 遼太	15:20 OC-21 共催シンポジウム (大阪抗菌薬倶楽部) 感染症領域のTDM普及を担う若手薬剤師の視点とエビデンス創出 オーガナイザー: 山田 智之 座長: 山田 智之, 山本 圭城 演者: 山本 圭城, 堀田 康弘, 近藤 昭志, 櫻井 紀宏			17
17	16:50 閉会式				17

第41回日本TDM学会・学術大会（2025年7月27日）

第5～7会場は「杏の杜」 4/20修正版

(時)	ポスター掲示場	第5会場1階	第6会場2階	第7会場1階	(時)
9	9:00				9
10		10:00	9:30 [C] C-23① 抗菌薬TDMハンズオン 症例で学ぶ！抗菌薬TDM 進行：潮平 英郎 座長：眞経 賢一 チューター： 竹内 拓介 小林 和博 松本 裕善	10:00	10
11					11
12	ポスター発表演題 コンベンションセンター 2階 掲示時間：26日 10:00～27日 16:00 学生優秀演題賞候補演題 P1～P8 示説時間：26日 奇数 12:30～13:30 偶数 13:30～14:30	フリースペース	1:40 [D]付随トークイベント エキスパートに聞くTDMの実際 パネリスト：山田 智之、鈴木 義紀 齊藤 順平、石郷 友之		12
13	一般ポスター発表演題 P9～P16 示説時間：27日 奇数 12:30～13:30 偶数 13:30～14:30			機器展示& 簡易ハンズオン (株)日立ハイテク 随時参加可	13
14	P-1 鈴木そら、P-3 荒井佳誉 P-5 石田光稀、P-7 東方里穂 P-2 澤田萌々、P-4 小迫千花 P-6 唐 翠佳、P-8 鈴木慈奈 P-9 橋尾卓也、P-11 安藤基純 P-13 橋本直明、P-15 島田英佳 P-10 佐野珠世、P-12 橋本真梨 P-14 三浦基靖、P-16 藤田浩平		4:00 [E] C-23② NONMEMハンズオン Phoenix NLMEによる 母集団薬物動態モデリング体験 進行：尾田 一貴 演者：佐古 兼一		14
15					15
16					16
17					17
	ポスター掲示場	第5会場1階	第6会場2階	第7会場1階	

第 41 回日本 TDM 学会・学術大会 プログラム

○を付したコンテンツは後日 OnDemand 配信予定

2025 年 7 月 26 日 (土)

大会長講演

C-1 ○ 大会概要 (第 1 会場) 9:10 ~ 9:25 7 月 26 日

TDM x DX で織り成す医療情報社会

大会長 池田 賢二 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・教授)

理事長講演

C-2 ○ 理事長講演 (第 1 会場) 9:25 ~ 9:45 7 月 26 日

座長：池田 賢二 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・教授)

日本 TDM 学会の活動

一般社団法人日本 TDM 学会 理事長 菅原 満
(北海道大学大学院薬学研究院 薬物動態解析学研究室・教授)

特別講演

C-3 ○ 特別講演 1 (第 1 会場) 10:10 ~ 11:40 7 月 26 日

座長： 島本 裕子 (国立循環器病研究センター薬剤部・主任薬剤師)

医療へのデジタルツインの活用展望

朔 啓太 (国立循環器病研究センター 循環動態制御部 /
バイオデジタルツイン研究部・室長 / 特任部長)

教育講演

C-7 ○ 教育講演 1 (第 1 会場) 13:10 ~ 14:10 7 月 26 日

座長：加藤 隆児 (大阪医科薬科大学薬学部 薬物治療学 I 研究室・教授)

数理モデルと AI を活用したファーマコメトリクスの進化と

デジタルツインの役割

辻 泰弘 (日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室・教授)

シンポジウム

C-4 ○ シンポジウム 1 (第 2 会場) 10:10 ~ 11:40 7 月 26 日

遊離型および組織中濃度に基づいた TDM を考える

オーガナイザー：

尾田 一貴 (熊本大学病院薬剤部・薬剤師)

座長：

榎屋 友幸 (鈴鹿医療科学大学薬学部 医薬品情報学研究室・准教授)

唾液中濃度に基づく抗 MRSA 薬 TDM の検討

辻 泰弘 (日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室・教授)

活性代謝物の遊離型濃度に基づく TDM の検討

田中 遼大 (大分大学医学部附属病院薬剤部・准教授/薬剤師)

クリアランス理論からどこまで遊離形濃度に迫れるか？

平井 利典 (東京科学大学病院薬剤部・准教授)

テイコプラニンの遊離型濃度測定とその評価

埜越 崇範 (広島大学病院薬剤部・助教)

脳脊髄液中の抗悪性腫瘍薬濃度に基づく TDM の検討

吉川 直樹 (大分大学医学部附属病院薬剤部・准教授/副薬剤部長)

C-10 ○ シンポジウム 2 (第 2 会場) 15:00 ~ 16:30 7 月 26 日

TDM x Dx が拓く新しい免疫抑制療法

オーガナイザー：

増田 智先 (姫路獨協大学薬学部医療薬剤学研究室・教授/薬剤師)

座長：

増田 智先 (姫路獨協大学薬学部医療薬剤学研究室・教授/薬剤師)

竹内 裕紀 (東京医科大学病院薬剤部・薬剤部長)

免疫抑制薬の TDM における新しい変動要因

吉川 直樹 (大分大学医学部附属病院薬剤部・准教授/副薬剤部長)

免疫抑制薬の適正使用を目指した臨床研究

平井 利典 (東京科学大学病院薬剤部・准教授)

ミコフェノール酸の TDM と AUC 算出ソフトの開発

三浦 昌朋 (秋田大学大学院医学系研究科 薬物動態学講座・教授)

C-9 ○ 国際交流シンポジウム

JSTDM-IATDMCT YS Joint Symposium 2025 7/26

(第 1 会場) 14:50 ~ 16:20

-Antimicrobial Optimization with TDM: for patients' future-

Organizer and Chair: Ryota Tanaka (Department of Pharmacy, Ohita University Hospital)

Yoshiki Yamamoto (Department of Pharmacy, Sakai City Medical Center)

TDM in the ICU: Optimising Beta-Lactam Therapy Amid Pharmacokinetic Chaos

Indy Sandaradura (Centre for Infectious Diseases and Microbiology, Westmead Hospital,

Clinical Senior Lecturer, University of Sydney, Australia)

Individualize vancomycin dose with support of MIPD

Vu Dinh Hoa (Department of Clinical Pharmacy, Hanoi University of Pharmacy, Vietnam)

Antimicrobial TDM – Level Up Our Fight Against Antimicrobial Resistance

Nathalie Grace Sy Chua (Singapore General Hospital, Singapore)

Optimizing the appropriate use of vancomycin in critically ill patients

- A comprehensive approach to balancing safety and efficacy -

Tomoyuki Ishigo (Department of Hospital Pharmacy,
Sapporo Medical University Hospital)

C-8 ○ 教育セッション 1 (第 2 会場) 13:10 ~ 14:40 7 月 26 日

私にもできる TDM に関連する医療情報を活用した研究

オーガナイザー：

村木 優一 (京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野・教授)

座長：

村木 優一 (京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野・教授)

浜田 幸宏 (高知大学医学部附属病院薬剤部・教授・薬剤部長)

保険請求情報を用いた TDM の効果と副作用の評価手法

冨瀬 諒 (京都薬科大学臨床薬剤疫学分野・助教)

文献データとモデリング・シミュレーション(M&S)を

活用したファーマコメトリクス研究の展開

丸山 拓実 (高知大学医学部附属病院薬剤部・薬剤師)

医療情報データベースおよびファーマコメトリクスを用いた研究手法

岡田 章 (武蔵野大学 薬学部 レギュラトリーサイエンス研究室・講師)

文献値情報で実施するメタアナリシス分析手法

花井 雄貴 (東邦大学薬学部臨床薬学研究室・講師)

一般講演

O-A 学生優秀演題賞候補演題1 (第3会場) 13:10 ~ 14:25 7月26日

座長：

浦嶋 和也 (JCHO 大阪みなと中央病院 薬剤部・主任薬剤師)

平 大樹 (京都大学医学部附属病院 薬剤部・講師)

O-1 テイコプラニン初期投与設計におけるやせおよび肥満患者に対する最適な負荷投与量の探索

○近藤 昭志^{1,2)}, 尾田 一貴¹⁾, 城野 博史^{1,2)}

1) 熊本大学病院 薬剤部 2) 熊本大学大学院 薬学教育部 臨床薬物動態学分野

O-2 ループス腎炎におけるミコフェノール酸の AUC 推定: PETINIA 測定値の多重線形回帰による LSS

○小川 萌花¹⁾, 小林 昌宏^{2,3)}, 奥 健志⁴⁾, 東野 俊洋⁵⁾, 山岡 邦宏⁴⁾

1) 北里大学大学院薬学研究科 2) 北里大学薬学部薬物動態学 3) 北里大学病院薬剤部 4) 北里大学医学部リウマチ・膠原病内科学 5) 北里大学医学部総合診療医学

O-3 ポリコナゾール経口投与患者における投与初期に認められる薬物血漿中濃度 ($4 \mu\text{g/mL}$ 以上) に影響を与える要因

○廣田 健一郎¹⁾, 三浦 崇則²⁾, 栗田 浩文²⁾, 澤 正史²⁾, 長谷川 洋一¹⁾

1) 名城大学薬学部 2) 安城更生病院

O-4 内因性メラトニン部分代謝クリアランスを用いた薬物動態予測に向けたカフェインの母集団薬物動態解析

○久田 直毅¹⁾, 五十嵐 俊二¹⁾, 田川 良樹¹⁾, 柴崎 浩美¹⁾, 横川 彰朋¹⁾

1) 東京薬科大学 薬学部 個別化薬物治療学教室

O-11 タクロリムスの臨床体内動態の後方視的解析とベイズ推定の精度改善を目的とする少数採血デザインの開発

○加田 勝也¹⁾, 井出 春佳¹⁾, 釣 浩之²⁾, 小森 紗希子²⁾, 野村 恵子²⁾, 今井千速²⁾, 田口 雅登¹⁾

1) 富山大学薬学部 2) 富山大学医学部

O-B 学生優秀演題賞候補演題2 (第4会場) 13:10 ~ 14:10 7月26日

座長:

安藤 基純 (愛知学院大学薬学部)

山本 和宏 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 (薬学系) 臨床基礎統合薬学分野・教授)

O-5 バンコマイシン投与早期の急性腎障害予測モデルの構築: 多施設共同研究による機械学習アプローチ

○飯田 萌子^{1,2)}, 堀田 康弘^{1,2,3)}, 久田 宜範⁴⁾, 長水 正也⁴⁾, 野田 雅人⁵⁾, 都築 香里⁵⁾, 村松 桜子⁶⁾, 水野 知世⁴⁾, 野村 有紀²⁾, 朝倉 宏紀⁴⁾, 河原 昌美⁶⁾, 森下 修行⁴⁾, 近藤 勝弘⁵⁾, 堀田 祐志^{1,2)}, 中村 敦³⁾, 日比 陽子^{1,2)}

1) 名古屋市立大学 大学院医学研究科 臨床薬剤学 2) 名古屋市立大学病院 薬剤部 3) 名古屋市立大学病院 感染制御部 4) 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 薬剤部 5) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 薬剤部 6) 愛知学院大学 薬学部 臨床薬学

O-6 全身性エリテマトーデス患者の治療効果に及ぼす血中ヒドロキシクロロキン濃度の個人差要因の解明

○上松 祐貴^{1,2)}, 平井 啓太^{1,2)}, 市川 貴規³⁾, 岸田 大³⁾, 下島 恭弘³⁾, 内藤 隆文^{1,2)}

1) 信州大学大学院総合医理工学研究科 臨床薬理学 2) 信州大学医学部附属病院 薬剤部 3) 信州大学医学部 リウマチ・膠原病内科

O-7 人工心肺施行患者におけるレミゾラムの母集団薬物動態解析

○豊福 眞子¹⁾, 上島 智¹⁾, 井上 基²⁾, 北川 優香¹⁾, 田村 優依¹⁾, 伊藤 柊太¹⁾, 若井 恵里¹⁾, 北川 裕利²⁾, 角本 幹夫¹⁾

1) 立命館大学薬学部 医療薬学研究室 2) 滋賀医科大学 麻酔学講座

O-8 去勢抵抗性前立腺がんに対するエンザルタミドの有効性及び忍容性に関する長期観察研究

○佐々木 友希¹⁾, 坂井 彩華¹⁾, 岩井 千寛¹⁾, 種田 靖久^{1,2)}, 横井 毅²⁾, 塚本 桂³⁾, 水井 貴詞⁴⁾, 米田 尚也⁵⁾, 北市 清幸^{1,2)}

1) 岐阜薬科大学薬物動態学研究室 2) 岐阜薬科大学機能性食品開発学寄附講座 3) 岐阜薬科大学グローバルレギュラトリーサイエンス 4) 岐阜市民病院薬剤部 5) 岐阜市民病院泌尿器科

O-C 若手優秀演題賞候補演題1 (第3会場) 15:10 ~ 16:10 7月26日

座長:

山田 智之 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室)

榎屋 友幸 (鈴鹿医療科学大学薬学部 医薬品情報学研究室・准教授)

O-9 右前腕、両大腿切断患者におけるバンコマイシン投与に際し、血清シスタチンC測定によるTDMが有用であった1症例

○熊田 拓史¹⁾, 浦嶋 和也¹⁾, 丸山 潔¹⁾, 上野 裕之¹⁾

1) JCHO 大阪みなと中央病院薬剤部

O-10 血液透析患者におけるCapeOXレジメンの薬物動態・薬理遺伝学的評価とSystematic reviewに基づいた減量基準の検討

○中野 祐樹¹⁾, 平井 利典²⁾, 西條 尚³⁾, 植松 勇吾⁴⁾, 中島 葉子⁵⁾, 尾崎 智美⁶⁾, 柴田 稜子⁶⁾, 今田 麻子⁶⁾, 成富 一哉⁷⁾, 緒方 文彦⁴⁾, 川崎 直人⁴⁾, 巴山 忠³⁾, 安永 昌史⁷⁾, 多田 和弘⁸⁾, 蓮輪 博嗣¹⁾, 升谷 耕介⁸⁾

1) 福岡県済生会二日市病院 薬剤部 2) 東京科学大学病院 薬剤部 3) 福岡大学 薬学部 臨床分析学 4) 近畿大学 薬学部 公衆衛生学 5) 藤田医科大学病院 小児科 6) 福岡県済生会二日市病院 腎臓内科 7) 福岡県済生会二日市病院 消化器外科 8) 福岡大学医学部 腎臓・膠原病内科学

O-12 重症/複雑性MRSA感染症患者におけるバンコマイシンの急性腎機能障害発症予測に関する検討(第2報):トラフ値と予測AUCによる評価の比較

○関 博行¹⁾, 橋本 直明^{1,2)}, 土岐 浩介^{1,3)}, 本間 真人^{1,3)}

1) 筑波大学附属病院薬剤部 2) 筑波大学附属病院感染症内科 3) 筑波大学大学院医学医療系

O-D 若手優秀演題賞候補演題2 (第4会場) 15:40 ~ 16:25 7月26日

座長:

辻本 雅之 (京都薬科大学 臨床薬学分野・講師)

山田 孝明 (和歌山県立医科大学薬学部 医療薬剤学研究室・准教授)

O-13 ポサコナゾール投与によるエベロリムスの著明な血中濃度上昇:肝移植患者の1症例

○平井 真智子¹⁾, 梅村 圭祐¹⁾, 片田 佳希¹⁾, 小島 悠輔¹⁾, 石村 裕樹¹⁾, 勝部 友理恵¹⁾, 平 大樹¹⁾, 影山 詔一²⁾, 津田 真弘¹⁾, 中川 俊作¹⁾, 波多野悦朗²⁾, 寺田 智祐¹⁾

1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部 2) 京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科

O-14 肝胆膵術後の腹腔内感染症患者におけるタゾバクタム/ピペラシリンの薬物動態/薬力学解析

○横山 智士¹⁾, 中川 潤一¹⁾, 石戸 圭之輔²⁾, 上野 桂代¹⁾, 木村 憲央²⁾, 長瀬 勇人²⁾, 若狭 悠介²⁾, 鶴田 覚²⁾, 袴田 健一²⁾, 新岡 丈典^{1,3)}

1) 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 2) 弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 3) 弘前大学大学院医学研究科 薬剤学講座

O-15 Pharmacodynamics (PD) シミュレーションを用いた腎機能障害患者におけるフェキソフェナジンの適正投与評価

○奥羽 華乃子¹⁾, 池田 賢二¹⁾

1) 大阪大学薬学研究科

スポンサードセミナー

C-5 スポンサーードセミナー1 ((株)日立ハイテク)

(第1会場) 12:00 ~ 13:00 (飲食可) 7月26日

座長：鈴木 広道 (筑波大学医学医療系感染症内科学／
筑波大学附属病院感染症内科・感染制御部・検査部)

ICUでの抗菌化学療法におけるTDM:HPLCの活用と課題

橋本 英樹 (日立総合病院 救急集中治療科・感染症科
筑波大学附属病院日立社会連携教育研究センター 感染症内科)

C-6 スポンサーードセミナー2 (株式会社島津製作所)

(第2会場) 12:00 ~ 13:00 (飲食可) 7月26日

LC-MS/MSとは？ 基礎から臨床分野への応用

箕畑 俊和 (島津製作所)

C-11 スポンサーードセミナー3 (第一三共株式会社)

(第4会場) 14:20 ~ 15:20 7月26日

座長：加藤 隆児 (大阪医科薬科大学薬学部 薬物治療学I研究室・教授)

神経障害性疼痛の薬物療法 ～多職種における薬剤師の役割～

竹屋 泰 (大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻
看護実践開発科学講座 老年看護学教室・教授)

ハンズオンセミナー

C-23 ハンズオンセミナー1 (第6会場) 9:30 ~ 15:30 7月26日

(オプション申し込み制: 要自身のPC持ち込み)

[A] 抗菌薬 TDM ハンズオン: 症例で学ぶ! 抗菌薬 TDM

進行: 潮平 英郎 (昭和薬科大学 臨床薬学研究室)

座長: 眞継 賢一 (関西電力病院 薬剤部)

チューター:

竹内 祐介 (ベルランド総合病院 薬剤部)

小林 和博 (公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 薬剤部)

松本 裕喜 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室)

[B] NONMEM ハンズオン:

Phoenix™ NLME による母集団薬物動態モデリング体験

進行: 尾田 一貴 (熊本大学病院薬剤部・薬剤師)

演者: 佐古 兼一 (日本薬科大学 薬学部臨床薬理学分野)

C-24 ハンズオンセミナー2

(オプション申し込み制)

(第5会場) [F] 13:30 ~ 14:20, [G] 14:40 ~ 15:30 7月26日

SHIMADZU 分離分析機器ハンズオン:

質量分析装置にさわってみましょう!

C-36 スポンサーセミナー簡易ハンズオン ((株)日立ハイテック) 随時

(第7会場) 10:00 ~ 16:00 7月26日

○を付したコンテンツは後日 OnDemand 配信予定

2025年7月27日(日)

特別講演

C-12 ○ 特別講演 2 (第 1 会場) 9:00 ~ 10:30 7 月 27 日

座長：池田 賢二 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・教授)

医療情報共有とデータ利活用に向けた未来のカタチ

武田 理宏 (大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学・教授)

シンポジウム

C-14 ○ 共催シンポジウム (日本医療情報学会)

(第 1 会場) 10:40 ~ 12:10 7 月 27 日

多面的な医療情報の共有に向けて

オーガナイザー兼座長：

池田 賢二 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・教授)

武田 理宏 (大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学・教授)

医療情報の標準コード運用の現状整理と今後の展望

山下 貴範 (九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター・准教授)

デジタルツインの動態学的応用

奥羽 華乃子 (大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野・特任助教)

デジタル活用した薬剤師の臨床介入とデータに基づいた AI 活用

中尾 豊 (株式会社カケハシ・代表取締役社長)

TDM における電子カルテを介した体制整備

鷺見 和之 (岐阜大学医学部附属病院薬剤部・薬剤師)

C-13 ○ シンポジウム 3 (第 2 会場) 9:00 ~ 10:30 7 月 27 日

医療 Dx 時代の TDM を考える

オーガナイザー兼座長：

山本 和宏 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 (薬学系) 臨床基礎統合薬学分野・教授)

平 大樹 (京都大学医学部附属病院 薬剤部・講師)

TDM における AI の実装

水野 知行 (Cincinnati Children's Hospital Medical Center)

機械学習を活用した TDM の実践と AI の可能性

小林 昌宏 (北里大学薬学部薬物動態学・准教授)

医療連携デジタルツールの活用と TDM への応用

吉田 優子 (京都大学医学部附属病院 薬剤部・薬剤主任)

バンコマイシンの TDM と医療 Dx

尾田 一貴 (熊本大学病院薬剤部・薬剤師)

C-15 ○ シンポジウム 4 (第 2 会場) 10:40 ~ 12:10 7 月 27 日

TDM 検査精度の実態と薬物治療に対する影響

オーガナイザー兼座長： 谷川原 祐介 (慶應義塾大学 殿町先端研究教育連携スクエア

ファーマコメトリクス・システム薬理学研究室・名誉教授・大学特任教授)

座長： 城野 博史 (熊本大学病院薬剤部・教授)

TDM 精度管理は何故必要なのか

谷川原 祐介 (一般社団法人 TDM 品質管理機構・代表理事)

免疫抑制薬 TDM の精度管理

増田 智先 (姫路獨協大学薬学部医療薬剤学研究室・教授/薬剤師)

抗てんかん薬 TDM の精度管理

山本 和宏 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 (薬学系) 臨床基礎統合薬学分野・教授)

LC-MS/MS を用いた血中薬物濃度測定における精度管理

佐藤 紀宏 (東北大学病院薬剤部・助教)

TDM 検査精度の普及・推進に向けた日本臨床化学会の取り組み

城野 博史 (熊本大学病院薬剤部・教授)

C-16 シンポジウム 5 (第 3 会場) 10:40 ~ 12:10 7 月 27 日

今見直そう、

「循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン」

オーガナイザー：

島本 裕子 (国立循環器病研究センター薬剤部・主任薬剤師)

座長：

島本 裕子 (国立循環器病研究センター薬剤部・主任薬剤師)

志賀 剛 (東京慈恵会医科大学臨床薬理学講座・教授)

ジゴキシシンとフレカイニドにより出産に至った胎児性不整脈の症例

-フレカイニド血中濃度の事後解析-

高塚 博一 (千葉大学医学部附属病院薬剤部・)

シベンゾリン中毒症例

小田 真司 (松山市民病院薬剤部・薬剤師)

非持続性心室頻拍・心房細動に対するアミオダロンの使用：

TDM に基づいた点滴から経口への投与経路の変更

新名主 カオリ (国立循環器病研究センター薬剤部・薬剤師)

「循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン」の

トリセツガイドライン作成の立場から

志賀 剛 (東京慈恵会医科大学臨床薬理学講座・教授)

C-17 ○ 共催ランチタイムシンポジウム (関西腎と薬剤研究会)

(第 1 会場) 12:30 ~ 14:00 (飲食可) 7 月 27 日

腎機能低下患者にこそ活かそう！薬物動態と TDM の知識

オーガナイザー：

浦嶋 和也 (JCHO 大阪みなと中央病院 薬剤部・主任薬剤師)

林 八恵子 (近江八幡市立総合医療センター 薬剤部・副主任)

座長：

浦嶋 和也 (JCHO 大阪みなと中央病院 薬剤部・主任薬剤師)

吉田 紗理 (大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 薬局・主任/薬剤師)

Overview ～腎機能低下時の薬物動態変化を学んで、TDM に活用しよう～

辻本 雅之 (京都薬科大学 臨床薬学分野・講師)

腎機能低下患者への薬物動態、TDM を考慮した介入症例 1

～リネゾリド投与症例から考える～

竹腰 雄真 (八尾徳洲会総合病院 薬剤部・薬剤師)

腎機能低下患者への薬物動態、TDM を考慮した介入症例2

～ジゴキシン投与症例から考える～

植田 徹 (JCHO 大和郡山病院 薬剤部・薬剤師)

Summary ～腎機能低下症例に TDM を活用するためのコツとポイント～

吉田 拓弥 (特定医療法人仁真会白鷺病院 薬剤科・主任)

C-20 ○ シンポジウム 6 (第 1 会場) 15:30 ～ 16:50 7 月 27 日

小児こそ DX を！臨床での TDM とファーマコメトリクスの活用

オーガナイザー：

島本 裕子 (国立循環器病研究センター薬剤部・主任薬剤師)

座長：

島本 裕子 (国立循環器病研究センター薬剤部・主任薬剤師)

木村 利美 (順天堂大学薬学部臨床薬理学分野・教授・薬剤部長特別補佐)

小児患者での β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗菌薬投与最適化のための

ファーマコメトリクスの活用

大仁田 哲修 (島根大学医学部附属病院 薬剤部・薬剤師)

小児患者におけるテイコプラニン PMx の臨床実装に向けた取り組み

山田 孝明 (和歌山県立医科大学薬学部 医療薬剤学研究室・准教授)

新生児・乳児を対象とした PMx の実践と将来展望

田中 遼大 (大分大学医学部附属病院薬剤部・准教授/薬剤師)

C-21 ○ 共催シンポジウム (大阪抗菌薬倶楽部)

(第2会場) 15:20 ~ 16:50 7月27日

感染症領域の TDM 普及を担う若手薬剤師の視点とエビデンス創出

オーガナイザー:

山田 智之 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室・薬剤師長)

座長:

山田 智之 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室・薬剤師長)

山本 圭城 (堺市立総合医療センター・薬剤師)

VRCZ の TDM と TDM 教育に関する大阪抗菌薬倶楽部の活動

山本 圭城 (堺市立総合医療センター・薬剤師)

臨床・研究・教育現場で使える TDM 解析支援ソフトの開発と

新しい科学的根拠の創出

堀田 康弘 (名古屋市立大学 大学院医学研究科 臨床薬理学・講師)

テイコプラニンの早期個別化投与設計に向けた TDM と臨床研究

近藤 昭志 (熊本大学病院 薬剤部・薬剤師)

リネゾリドの母集団薬物動態解析と TDM

櫻井 紀宏 (大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部・薬剤師)

C-18 ○ ランチタイム教育セッション 2

(第2会場) 12:30 ~ 13:20 (飲食可) 7月27日

座長: 浦嶋 庸子 (大阪大谷大学薬学部 臨床薬理学講座・講師)

TDM を始める予備知識

前田 真一郎 (大阪大学大学院薬学研究科・臨床薬理学分野・講師)

C-19 ○ 教育セッション 3 (第 2 会場) 13:30 ~ 14:50 7 月 27 日

TDM を始めたい方必見！若手研究者による TDM の基本と実践、

時々失敗

オーガナイザー：

浦嶋 庸子 (大阪大谷大学薬学部 臨床薬剤学講座・講師)

座長：

浦嶋 庸子 (大阪大谷大学薬学部 臨床薬剤学講座・講師)

横山 雄太 (慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門・専任講師)

感染症領域での PK/PD を活用した TDM の基本と実践

横山 雄太 (慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター
医療薬学部門・専任講師)

小児領域の TDM

齊藤 順平 (国立成育医療研究センター薬剤部・薬剤師)

免疫抑制薬の TDM

系原 光太郎 (神戸大学医学部附属病院薬剤部・助教)

リアルワールドデータとTDM:個別化医療に向けた可能性と実践のヒント

八木 達也 (浜松医科大学医学部附属病院薬剤部・副薬剤部長)

C-22 症例カンファレンス (第 4 会場) 15:20 ~ 16:50 7 月 27 日

[H] 慣れない薬の TDM で迷ったら～初学者も参加して

症例検討で経験を共有しよう～

オーガナイザー兼座長：

吉田 紗里 (大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 薬局・主任/薬剤師)

座長：

浦田 元樹 (社会医療法人寿楽会 大野記念病院 薬剤部・薬剤部長)

ポリコナゾールの症例検討

松本 裕喜 (大阪医科薬科大学病院薬剤部・薬剤師)

テイコプラニンの症例検討

松田 翔平 (中国労災病院 薬剤部・薬剤副部長)

一般講演

O-E 優秀演題賞候補演題-1 (第4会場) 10:35 ~ 12:20 7月27日

座長：

田中 遼大 (大分大学医学部附属病院薬剤部・准教授/薬剤師)

辻 泰弘 (日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室)

O-16 肝細胞癌患者におけるレンバチニブがOATP1B活性に与える影響の評価

○白岩 健¹⁾, 末繁 嘉朗¹⁾, 田中 遼大¹⁾, 鈴木 陽介²⁾, 小田 絢子²⁾, 佐藤 春輝²⁾, 遠山 大樹²⁾, 安部 博宣¹⁾, 龍田 涼佑¹⁾, 大野 恵子²⁾, 伊東 弘樹¹⁾

1)大分大学医学部附属病院 薬剤部 2)明治薬科大学 薬剤情報解析学研究室

O-17 造血器疾患患者におけるポサコナゾールの血中濃度に影響を与える因子の解析～薬剤肝代謝率と遺伝子多型の影響～

○安井 友佳子^{1,2)}, 岡山 裕介³⁾, 久野 雅智⁴⁾, 康 秀男⁵⁾, 柴多 渉²⁾, 掛屋 弘²⁾, 安井 裕之⁶⁾

1)大阪医科薬科大学薬学部臨床薬学教育研究センター2)大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 3)社会医療法人若弘会若草第一病院 血液内科 4)大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 5)大阪公立大学大学院医学研究科 産業医学教室 6)京都薬科大学 代謝分析学分野

O-18 母集団薬物動態－薬力学シミュレーションに基づく透析患者におけるCeftriaxone 適正用法の探索

○土肥 麻貴子¹⁾, 堀田 拓海²⁾, 福島 恵造²⁾, 西岡 弘晶³⁾, 橋田 亨^{1,2)}, 杉岡 信幸²⁾, 室井 延之¹⁾

1)神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部 2)神戸学院大学薬学部 3)神戸市立医療センター中央市民病院総合内科

O-19 母集団薬物動態解析と機械学習を組み合わせたバンコマイシンのトラフ値および AUC 予測モデルの構築

○堀田 康弘^{1,2,3)}, 宮本 武門¹⁾, 飯田 萌子^{1,2)}, 野田 雅人⁴⁾, 早川 智章^{1,2,3)}, 大橋 一輝^{2,3)}, 長水 正也⁵⁾, 村松 桜子⁶⁾, 朝岡 みなみ^{1,2)}, 和知野 千春^{1,4)}, 加藤 秀紀^{1,2)}, 三村 佳久^{1,2)}, 河原 昌美⁶⁾, 近藤 勝弘^{1,4)}, 堀田 祐志^{1,2)}, 中村 敦³⁾, 日比 陽子^{1,2)}

1) 名古屋市立大学 大学院医学研究科 臨床薬理学 2) 名古屋市立大学病院 薬剤部 3) 名古屋市立大学病院 感染制御部 4) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 薬剤部 5) 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 薬剤部 6) 愛知学院大学 薬学部 臨床薬学講座

O-20 静脈血栓塞栓症を発症したがん患者における直接経口抗凝固薬エドキサバンの PK/PD 解析に関する多施設前向き共同研究

○野田 哲史^{1,2)}, 福井 里佳^{2,3)}, 塩山 渉⁴⁾, 上島 智¹⁾, 田淵 陽平³⁾, 平大樹⁵⁾, 佐藤 裕紀⁵⁾, 渡邊 愛未⁵⁾, 有福 萌波⁵⁾, 山下 侑吾⁶⁾, 尾野 亘⁶⁾, 中川 義久⁴⁾, 寺田 智祐⁵⁾, 桂 敏也¹⁾, 森田 真也^{2,3)}

1) 立命館大学 薬学部 2) 滋賀医科大学薬物治療学講座 3) 滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部 4) 滋賀医科大学内科学講座 (循環器内科) 5) 京都大学医学部附属病院薬剤部 6) 京都大学医学部附属病院循環器内科

O-21 バンコマイシン塩酸塩注射薬とゲンタマイシン硫酸塩注射薬併用症例において厳格なゲンタマイシン TDM 下での急性腎障害発症に関するバンコマイシン AUC 値の予備的検討

○中山 裕一¹⁾, 中村 喜次²⁾, 田中 昌代¹⁾

1) NTT 東日本関東病院 薬剤部 2) 千葉西総合病院 心臓血管外科

O-22 Prospective validation of a nomogram for determining the optimal dose of lamotrigine for augmentation therapy in patients with treatment-resistant depressive disorder

○鈴木 毅¹⁾, 永井 五洋²⁾, 三原 一雄^{2,3)}, 友利 陽子²⁾, 香川 祥子²⁾, 中村 明文²⁾, 根本 健二²⁾, 近藤 毅²⁾

1) 琉球大学病院薬剤部 2) 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座 3) 宇治おうばく病院

O-F 一般演題(口頭)(第4会場) 13:45 ~ 14:30 7月27日

座長:

村木 優一(京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野・教授)

浜田 幸宏(高知大学医学部附属病院薬剤部・教授・薬剤部長)

O-23 健康成人単回投与試験におけるリネゾリドおよび代謝物 PNU-142586 の薬物動態解析

○青山 隆彦¹⁾, 鷺見 栞里¹⁾, 矢作 彩¹⁾, 黒崎 史大¹⁾, 及川 直毅²⁾, 川筋 仁史³⁾, 内山 武人²⁾, 山本 善裕³⁾, 辻 泰弘¹⁾

1) 日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室 2) 日本大学薬学部医薬品化学研究室 3) 富山大学学術研究部医学系感染症学講座

O-24 分子インプリントカーボンペーストを用いた使い捨てバンコマイシンセンサによる実試料測定

○吉見 靖男¹⁾, 平田 碧生¹⁾, 三本木 翔瑛¹⁾, 大塚 璃空¹⁾, 外山 滋¹⁾, 齋藤 健一²⁾

1) 芝浦工業大学化学工学研究室 2) 埼玉医科大学総合医療センター薬剤部

O-25 R 及び nlmixr2 パッケージを用いたバンコマイシン母集団薬物動態モデルの構築

○小林 宇太郎¹⁾, 佐藤 史織¹⁾, 陸丸 幹男¹⁾

1) 大分市医師会立アルメイダ病院薬剤部

ハンズオンセミナー

C-23 ハンズオンセミナー1 (第6会場) 9:30 ~ 15:30 7月27日

(オプション申し込み制: C, E は要自身のPC持ち込み)

[C] 抗菌薬 TDM ハンズオン: 症例で学ぶ! 抗菌薬 TDM

進行: 潮平 英郎 (昭和薬科大学 臨床薬学研究室)

座長: 眞継 賢一 (関西電力病院 薬剤部)

チューター:

竹内 祐介 (ベルランド総合病院 薬剤部)

小林 和博 (公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 薬剤部)

松本 裕喜 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室)

[D] エキスパートに聞く TDM の実際(付随トークイベント)

進行: 尾田 一貴 (熊本大学病院 薬剤部)

パネリスト:

山田 智之 (大阪医科薬科大学病院 薬剤部/医療総合管理部・感染対策室)

鈴木 義紀 (宮城県立がんセンター 薬剤部/感染対策室)

齊藤 順平 (国立成育医療研究センター 薬剤部)

石郷 友之 (札幌医科大学病院 薬剤部)

[E] NONMEM ハンズオン:

Phoenix™ NLME による母集団薬物動態モデリング体験

進行: 尾田 一貴 (熊本大学病院薬剤部・薬剤師)

演者: 佐古 兼一 (日本薬科大学 薬学部臨床薬理学分野)

C-36 スポンサーセミナー簡易ハンズオン ((株)日立ハイテック) 随時

(第7会場) 10:00 ~ 16:00 7月27日

一般ポスター演題 26日 10:00～27日 16:00 掲示

P-A 学生演題賞候補演題奇数 (ポスター) (2階ポスター掲示場)

示説時間 26日 12:30-13:30

P-1 先天性サイトメガロウイルス感染患児を対象としたガンシクロビルの Exposure-Response 解析

○鈴木 そら¹⁾, 里 加代子²⁾, 青山 隆彦¹⁾, 尾上 知佳¹⁾, 飯田 理文^{1,3)}, 北原 隆志⁴⁾, 辻 泰弘¹⁾

1) 日本大学薬学部臨床薬物動態学研究室 2) 長崎大学病院薬剤部 3) 横浜薬科大学臨床薬理学研究室 4) 山口大学医学部附属病院薬剤部

P-3 経腸栄養剤がラットの血漿中ゾニサミド濃度におよぼす影響

○荒井 佳誉¹⁾, 浦嶋 庸子¹⁾, 今澤 裕輔¹⁾, 合志 発富男¹⁾, 山崎 愛梨¹⁾, 浦嶋 和也²⁾, 山田 智之³⁾, 倉地 果純³⁾, 西原 雅美³⁾, 芦田 明³⁾, 梅本 知輝¹⁾, 小畑 友紀雄¹⁾

1) 大阪大谷大学薬学部 2) JCHO 大阪みなと中央病院 薬剤部 3) 大阪医科薬科大学病院 薬剤部

P-5 Sawchuk-Zaske 法及び解析ソフトを用いた 2 点採血での therapeutic drug monitoring に基づく血漿中 Vancomycin 濃度予測精度評価

○石田 光稀¹⁾, 三浦 基靖¹⁾, 須山 由佳子²⁾, 中村 貴佳¹⁾, 河本 小百合¹⁾, 柏倉 康治¹⁾, 内田 信也¹⁾

1) 静岡県立大学薬学部実践薬学分野 2) 静岡県立総合病院薬剤部

P-7 ECMO 施行中の難治性心原性ショック患者におけるフェンタニルの生理学的薬物速度論モデルの確立

○東方 里穂¹⁾, 種田 靖久^{1,3)}, 小椋 友菜¹⁾, 谷知 航¹⁾, 田中 裕也²⁾, 横井 毅³⁾, 宇佐美 英績²⁾, 北市 清幸^{1,3)}

1) 岐阜薬科大学薬物動態学研究室 2) 大垣市民病院薬剤部 3) 岐阜薬科大学機能性食品開発学寄附講座

P-B 学生演題賞候補演題偶数 (ポスター) (2階ポスター掲示場) ~

示説時間 26日 13:30-14:30

P-2 Caco-2 単層細胞膜におけるレベチラセタムの透過性に対する半固形経腸栄養剤中の増粘剤の影響

○澤田 萌々¹⁾, 浦嶋 庸子¹⁾, 今澤 裕輔¹⁾, 合志 発富男¹⁾, 山崎 愛梨¹⁾, 浦嶋 和也²⁾, 山田 智之³⁾, 倉地 果純³⁾, 西原 雅美³⁾, 芦田 明³⁾, 梅本 知輝¹⁾, 小畑 友紀雄¹⁾

1)大阪大谷大学薬学部 臨床薬剤学講座 2)JCHO 大阪みなと中央病院薬剤部 3)大阪医科大学薬科大学病院薬剤部

P-4 母集団薬物動態解析を活用した小児肝移植患者におけるエベロリムス維持用量の検討

○小迫 千花¹⁾, 唐 寧佳²⁾, 前田 真一郎^{2,3)}, 奥田 真弘^{2,3)}

1)大阪大学薬学部 2)大阪大学大学院薬学研究科 3)大阪大学医学部附属病院薬剤部

P-6 成人肝移植患者におけるタクロリムス累積曝露の腎障害に対する母集団薬物動態/薬力学解析

○唐 寧佳¹⁾, 前田 真一郎^{1,2)}, 奥田 真弘^{1,2)}

1)大阪大学大学院薬学研究科 2)大阪大学医学部附属病院薬剤部

P-8 クロザピン誘発特異体質性副反応発症機序の解明と早期発症バイオマーカーの検討

○鈴木 慈奈¹⁾, 野田 拓誠¹⁾, 浦嶋 和也¹⁾, 水口 芹奈¹⁾, 藤本 亜弓¹⁾, 木谷 文香¹⁾, 田村 真由子¹⁾, 田中 早織¹⁾, 幸田 祐佳¹⁾, 加藤 隆児¹⁾

1)大阪医科薬科大学 薬学部 薬物治療学 I 研究室

P-C 一般演題奇数 (ポスター) (2階ポスター掲示場) ~

示説時間 27日 12:30-13:30

P-9 持続局所抗菌薬灌流療法に対し使用されるゲンタマイシンの治療薬物モニタリング実施状況の調査

○横尾 卓也¹⁾, 花井 雄貴²⁾, 磯田 凌¹⁾, 山浦 美咲¹⁾, 大谷 真理子¹⁾, 西村 功史¹⁾, 大久保 諒¹⁾, 坂本 真紀¹⁾, 松本 高広¹⁾

1) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部 2) 東邦大学薬学部臨床薬学研究室

P-11 表面増強ラマン散乱による迅速な血漿中カフェイン同定法の開発と中毒診断への応用に向けた検討

○安藤 基純¹⁾, 園田 凌太郎¹⁾, 渡邊 法男¹⁾, 河原 昌美¹⁾

1) 愛知学院大学薬学部

P-13 ポサコナゾール誘発性の偽アルドステロン症(第2報): 血中ポサコナゾール濃度モニタリング

○橋本 直明^{1,2)}, 大平 千陽¹⁾, 井坂 由佳¹⁾, 土岐 浩介¹⁾, 佐々木 裕哉³⁾, 栗田 尚樹³⁾, 坂田 麻実子³⁾, 本間 真人¹⁾

1) 筑波大学附属病院 薬剤部 2) 筑波大学附属病院 感染症内科 3) 筑波大学附属病院 血液内科

P-15 急性フェノバルビタール中毒に対し、尿アルカリ化・血液透析・活性炭反復投与の併用が奏功した1例

○島田 英佳¹⁾, 松本 裕喜¹⁾, 山田 智之¹⁾, 柿迫 大樹¹⁾, 畠山 淳司²⁾, 西原 雅美¹⁾, 芦田 明¹⁾

1) 大阪医科薬科大学病院薬剤部 2) 大阪医科薬科大学救急医学教室

P-D 一般演題偶数 (ポスター) (2階ポスター掲示場)

示説時間 27日 13:30-14:30

P-10 LC-MS/MS による DPD 欠損アッセイの性能評価

○佐野 珠世¹⁾, 小栗 将照¹⁾, PETIT Julia²⁾, LEVI Mikael²⁾, 箕畑 俊和¹⁾

1) 島津製作所分析計測事業部 2) Alsachim SAS, Illkirch, France

P-12 新生児が呈した代謝性アルカローシスより母親のトラセミド自己内服が疑われた一例

○橋本 真梨¹⁾, 北廣 優実¹⁾, 尊田 有香子¹⁾, 八木 美樹¹⁾, 糸原 光太郎¹⁾, 城戸 拓海²⁾, 藤岡 一路²⁾, 今福 仁美³⁾, 大村 友博¹⁾, 矢野 育子¹⁾

1) 神戸大学医学部附属病院薬剤部 2) 神戸大学医学部附属病院小児科 3) 神戸大学医学部附属病院産科婦人科

P-14 解析ソフトを用いた血漿中 Vancomycin トラフ濃度 1 点による 2 回目 Therapeutic drug monitoring 時の血漿中 Vancomycin 濃度予測精度評価

○三浦 基靖¹⁾, 須山 由佳子²⁾, 荒井 唯花¹⁾, 河本 小百合¹⁾, 柏倉 康治¹⁾, 内田 信也¹⁾

1) 静岡県立大学薬学部実践薬学分野 2) 静岡県立総合病院薬剤部

P-16 時間外業務におけるバンコマイシン初期投与設計の適正化に向けた取り組み

○藤田 浩平¹⁾, 糸原 光太郎¹⁾, 山本 和宏^{1,2)}, 荻原 孝史¹⁾, 谷口 貴子¹⁾, 山口 慶子¹⁾, 宇田 篤史¹⁾, 大村 友博¹⁾, 矢野 育子¹⁾

1) 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 2) 岡山大学学術研究院医歯薬学域 (薬学系) 臨床基礎統合薬学分野

2025/6/10 修正

謝辞

第41回日本TDM学会・学術大会の運営に際し、下記のとおり多くのご支援並びにご協力を頂きました。ここに深く感謝、また御礼申し上げます。

第41回日本TDM学会・学術大会

大会長 池田 賢二

共催ご協力

- 大阪大学大学院薬学研究科
- 一般社団法人 日本医療情報学会
- 一般社団法人 日本臨床薬理学会

ご後援

- 一般社団法人 日本臨床化学会
- 大阪抗菌薬倶楽部
- 関西腎と薬剤研究会
- 一般社団法人 大阪府薬剤師会
- 一般社団法人 大阪府病院薬剤師会

協賛企業様

- 日本ウォーターズ株式会社
- (株)日立ハイテク
- 第一三共株式会社
- 株式会社島津製作所

広告ご協力

- 日本ベーリンガーインゲルハイム
株式会社
- セルトリオン・ヘルスケア・
ジャパン株式会社
- アステラス製薬株式会社
- エーザイ株式会社
- 田辺三菱製薬株式会社
- あゆみ製薬株式会社
- マルホ株式会社
- 持田製薬株式会社

ご寄附

- ダイドー薬品株式会社
- 株式会社カケハシ

ご支援

- 公益財団法人
中富健康科学振興財団
- 公益財団法人
永井記念薬学国際交流財団

(順不同・敬称略 2025年5月15日現在)

第41回日本TDM学会・学術大会プログラム集

令和7年7月15日発行

発行 一般社団法人 日本 TDM 学会

事務局 〒607-8414

京都府京都市山科区御陵中内町 5

京都薬科大学薬物動態学分野

編集 第41回日本 TDM 学会・学術大会 大会事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-6

大阪大学大学院薬学研究科医療薬学分野内

問い合わせ先 第41回日本 TDM 学会・学術大会 大会事務局

E-mail : 41th_jstdm@clinpham.com

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/

人と動物の健康の向上 - 私たちの目標



イノベーションによる
価値

ベーリンガーインゲルハイムは、
研究開発主導型のバイオ製薬企業の
リーディングカンパニーとして、
アンメットメディカルニーズの
高い分野において、イノベーションによる
価値の創出に日々取り組んでいます。
1885年の創立以来、
ベーリンガーインゲルハイムは、
株式を公開しない独立した企業形態により
長期的視野を維持しています。

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

本社 / 〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
<https://www.boehringer-ingenelheim.com/jp/>



選択肢をつくる。 希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつづけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。

 田辺三菱製薬
<https://www.mt-pharma.co.jp/>



世界ブランドの バイオシミラーを 日本の患者さんに



セルトリオン社が創製したモノクローナル抗体のバイオシミラーは、世界で初めて欧州医薬品庁(EMA)および米国食品医薬品局(FDA)に認可され、2020年4月現在、世界110カ国(地域含む)において承認を取得しています。バイオシミラーの新たな時代に貢献すべく努力を続けています。

 HEALTHCARE
CELLTRION

[製造販売] [文献請求先及び問い合わせ先]

選任外国製造医薬品等製造販売業者：

セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

東京都中央区新川一丁目16番3号 住友不動産茅場町ビル3階

メディカルコールセンター 0120-833-889 (フリーダイヤル)

URL : <https://www.celltrionhealthcare.jp/ja-jp>

2020年6月作成
CHJ-1-1CA5-2001



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

医療・健康ニーズに応じて、 人々の健康・福祉にいつそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>



免疫抑制剤

劇薬、処方箋医薬品
(注意 - 医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

タクロリムス錠

0.5mg・1mg・1.5mg
2mg・3mg・5mg「あゆみ」

Tacrolimus tablets

タクロリムス錠



■【効能又は効果】、【用法及び用量】、
【警告・禁忌を含む使用上の注意】等については、
電子化された添付文書(電子添文)をご参照ください。

[文献請求先及び問い合わせ先]

あゆみ製薬株式会社
東京都中央区銀座四丁目12番15号

TCAA4②M-22JAY06



薬価基準収載

血行促進・皮膚保湿剤
ヒルドイド[®]
Hirudoid[®] : ヘパリン類似物質 製剤

クリーム0.3%

ソフト軟膏0.3%

ローション0.3%

フォーム0.3%

●効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文を参照ください。

GS1バーコード(『添文ナビ』で電子添文を閲覧できます) :



(01)14987213050752

製造販売 **maruho** マルホ株式会社

[文献請求先及び問い合わせ先]

大阪市北区中津1-5-22 〒531-0071

(ホームページアドレス)

<https://www.maruho.co.jp/>

(2024.2作成NJ)

